由裁量ノ行爲ハ行政裁判ノ目的タルコトヲ得ス――行政裁判ノ作用モ亦自由裁量タルヲ得ス――形式的行政裁判事項――行政裁判ノ裁判タル所以ヲ成ス要件――行政裁判所ノ組織――出訴――出訴ノ權ヲ有スル者――行政訴訟ノ被告――被告ノ地位ニ置カルル官廳――判決ノ內容及ヒ效力――判決ノ羈束力

法治國ノ原則ハ行政裁判ノ制度ニ依テ完成ス

立憲政體ノ精神主旨トスルトコロハ屢々之レヲ說ケリ其ノ政務ニ於ケルモ亦同シ立憲法治ノ政體ノ主旨ハ國家ノ行政ノ行動ヲシテ法ノ規律スルトコロタラシメ從テ臣民ノ自由ヲ法ニ依リテ保護スルトコロタラシムルニ在リ此ノ目的ヲ完成スル制度ヲ行政裁判ト爲ス行政裁判ハ法治國ト其ノ存在ヲ終始スル制度タリ法治國ヲ認ムル以上ハ行政裁判制度ヲ設クルノ要求必スヤ起ラサルヲ得スサレハ其ノ初メ立憲政體カ行ハレ行政ノ行動カ法ノ規律ニ從フヘキコトノ庶幾セラルヘキノ原則カ一般ニ認メラルルニ至ルヤ又タ同時ニ行政裁判ノ制度ヲ設クルノ企畫自然ニ起レリ遂ニ今日ノ完全ナル行政裁判制度トナレリ吾カ國ニ於テモ立憲政體カ布カルルト共ニ行政裁判ノ制度ノ設ケラルルヲ見ルニ至レリ實ニ行政裁判ノ制度カ確立セラルルニ至テ法治國ノ庶幾スルトコロハ完成セラル

行政ノ行動タル司法トハ異ナリテ法ニ拘束セラレタル法ノ適用ヲ目的トシ實質トスル作用ニ非ス其ノ行動ハ必要ト便宜トニ酌量シテ決セラル素ト自由ナル行動タリ此ノ性質ハ法治國ニ在テモ變更スルコトナシ然カレトモ之レヲ前ニモ述ヘタル如ク法治國ニ在テハ行政ノ行動ハ法ノ規律ノ下ニ行ハルルコト庶幾セラル法ノ適用カ其目的實質ニ非サレトモ法ハ常ニ其ノ消極的ノ限界ヲ成セリ法ノ繩張ノ內側ニ行動スルコトヲ條件トセラル斯クノ如キ法ノ限界ハ法治國ノ發達ト共ニ緊約スルニ至ル而シテ其ノ期スルトコロハ依テ以テ臣民ニ一定ノ自由ヲ保障スルニ在リテ臣民ノ公法上ノ權利ハ玆ニ確立スルニ至ル行政ハ法ノ限界アルニ依リテ規律アル行政ノ行動ハ自ラ之レニ對スル臣民ノ自由ノ範圍ノ認容トナリ臣民ノ法ニ保障セラレタル自由權利ハ行政ノ行動ヲ以テ恣マヽニ之レヲ取與伸縮スルコト能ハサルニ至ル行政法ノ目的トスルトコロハ實ニ此ノ國家ノ行動ニ一定ノ限界ヲ存シテ臣民ノ權利ノ侵スヘカラサルモノアラシムルニ在リト云フヘシ完全ニ此ノ目的ヲ達セントスルハ行政ノ行動ノ規律タル法ノ維持ノ爲メニ

公法上ノ權利ノ確立ハ獨立ナル行政裁判アルアリテ始メテ完キヲ得

之レニ對スル臣民ノ公法上ノ權利ノ確立ノ爲メニ國家ヲシテ法ノ範圍ノウチニ行動セシメ限界ヲ越ヘテ臣民ノ權利ノ範圍ヲ侵カスコトナカラシムル保障ノ制度アラシメサルヘカラス侵カサレタルトキニ其ノ救濟ヲ求ムルコトヲ得セシムルニ於テ公法上ノ權利ハ完全ニ固ク從テ行政法ノ存在確實ナリ救濟ハ法ト權利ノ確立ノ必要條件ナリ之レ行政ノ區域ニ訴訟裁判ノ制度アル所以ナリ

行政裁判ノ制度ハ專制國ニ於テハ之レナキトコロナリ此ノ時代ニ在リモ國家カ國庫トシテ私法上ノ關係ニ立ツトキハ私法裁判所ノ裁判ノ下ニ立ツコトアルハ著シク認メラレタルトコロニシテ依テ以テ國家ノ行動ニ對スル保障ト爲セリ範圍擴張シテ私法裁判所ハ諸種ノ行政事項ニ關スル裁判權ヲ有スルニ至レリ或ハ因襲シテ今ニ及フ然カレトモ斯クノ如キハ立憲政體ノ主旨タル三權分立ノ旨ニ合ハス行政ノ區域ニ於テ之レヲ管掌センコトヲ要求セラル然カレトモ上下ノ序次ノ關係ヲ有スル行政官廳ハ之レヲ管掌スルニ適セス上級官廳ノ指揮命令ノ下ニ立テ毫モ獨立ノ地位ヲ有スルコトナキ行政

獨佛行政裁判制度ノ沿革

官廳ニ向テ法ヲ嚴正ニ適用シテ臣民ノ公法上ノ權利ノ完全ナル救濟ヲ與ヘシメンハ決シテ之レヲ期シ望ムヲ得ルトコロニ非ス行政官廳ニ依リテ侵害セラレタリトスル權利ノ救濟ハ決シテ之レヲ行政官廳ノ手ニ委子テ完キヲ得ルコトヲ得サルナリ是ニ於テカ獨立ニ特別ノ行政裁判所ナカルヘカラス公法上ノ權利ノ確立ハ獨立ナル特別ノ行政裁判所ノ設ケアルヲ俟テ初メテ完シ

若シ實質ニ基テ三權分立ト云フナラハ司法ハ唯トリ民事刑事ノ訴訟事件ニ限ルモノニ非ス行政裁判ノ如キモ亦タ屬スヘシト爲スヘシ然カレトモ實際ニ唱ヘラレタル三權分立論ノ欲スルトコロハ斯クノ如キモノニ非ス民事刑事ノ訴訟事件ヲ以テ司法ト爲シ之レヲ行政ヨリ分タントスルナリ其ノ行ハルルニ至テモ亦タ然カリシコト之レヲ前ニ述ヘタルカ如シ佛蘭西ニ於テ革命時代ニ三權分立ノ原則實行セラルルニ至リシモノモ亦タ之レニシテ決シテ一切ノ訴訟裁判ヲ司法トシテ分立セシメタルニ非ス然レトモ民事刑事ノ裁判タル司法ハ嚴然トシテ分離セラレ而シテ此ノ意義ニ於ケル權力分立ハ

實ニ理論ノ要求スルカ如クニ實行セラレタリキ其ノ行政ノ司法ニ對スル獨立ノ原則ハ法律ニ明言セラレ司法官カ如何ナル方法ヲ以テスルモ行政ノ行動ニ容喙シ行政官ノ責任ヲ論セントスルハ罰ヲ以テ禁止セラレタリ其ノ結果佛蘭西ノ司法裁判所ハ行政ノ行動ノ適法ナルヤ否ヤニ就テハ一切審査スルノ權限ナクイハユル國庫トシテノ行政事項ニ就テモ僅カニ其ノ一部分ニ對シテ裁判權ヲ有スルノミナリキ若シ之レヲ許サハ行政ノ獨立ハ以テ危殆ニ陷ルヘシト爲セシナリ然カレトモ行政自己ノ内部ニ於テハ司法ト行政作用トノ理論的分立行ハレタリ即チ參事院ハ司法裁判所ニ屬セサル國庫ニ關スル訴訟ノ裁判及ヒ行政行爲ヲ終審ニ於テ法律ニ依リテ裁判スルノ權限ヲ有セリ其ノ手續モ亦タ特別ニ定メラレタリ

司法裁判所ハ行政ノ行動ノ適法ヲ審査スルノ權限ナシトスル所謂行政ノ獨立カ佛蘭西ニ實行セラルル頃獨逸ニ在テハ學者ハ一般國法ノ原則上凡ユル固有ナル行政事項ハ司法裁判所ノ方法ノ外ニ置クヘキモノナルコトヲ論セリ獨逸帝國解體ノ結果各國ハ所在國家タル形ヲ成スニ至リ各國ニ於ケル政治ノ新組織ハ佛蘭西ニ倣テ三權分立ノ形ヲ取リ司法裁判所ヲ以テ民事刑事ノ裁判ヲ掌ルトコロトナセリ然カレトモ國庫ニ關スル私法上ノ訴訟ハ從來ノ沿革ニ由リ獨逸ニ於テハ司法裁判所ニ屬セシメラレタリ唯タ一切ノ公法上ノ訴訟即チ臣民ノ公法上ノ權利ノ救濟ハ全然司法裁判所ニ屬セシメラレス

然レトモ未タ行政裁判所ノ設ケアルニ至ラス行政官廳ノ行動ニ依リテ權利ヲ侵害セラレタリトスル者ハ上級官廳ニ對スル訴願ノ方法ニ出テテ救濟セラルヘキモノトセラレ行政官廳ハ諸般ノ行政事務ト共ニ權利ノ侵害ノ訴願ニ對シ法律ヲ適用セリ

斯クノ如ク行政官廳ヲシテ臣民ノ權利ノ救濟ニ任セシメタルニ於テモ暫ク甚タシキ不便ヲ感スルコトナカリキ何トナレハ當時人民ノ政治的生活尚ホ未タ大ニ發達セス公法上ノ權利ハ未タ甚タ重視セラルルニ至ラサルカ故ナリ加之多クノ國國ニ於テハ行政官廳ハ合議體ニ組織セラレ其ノ執法ノ公平ト正理トニ於テ少シモ司法裁判所ニ讓ルモノナカリシヲ以テナリ

此ノ時ニ行政訴訟ノ許サルヘキヤ否ヤハ學者ノ間ニ盛ニ論爭セラレタリ行政訴訟ヲ許スヘカラストスルハ其ノ初メ三權分立ノ原則ヲ純理ニ從テ主張スル者ニ依リテ主張セラレ後ニハ國家カ自己ノ機關タル行政官廳ノ行動ヲ等シク自己ノ機關タル裁判所ニ依リテ裁判セントスルハ論理上不能トセラレタリ之レヲ許スヘシトスルハ佛蘭西ノ影響ニ由ルモノニシテ行政事項ニ就テモ亦タ民事裁判ノ形式ニ從テ裁判アルコトヲ得ヘク之レカ爲メニ獨立ノ裁判所ヲ設クヘシトセリ然カレトモ此ノ論爭ハ共ニ曖昧ナル觀念ヲ根據トシ未タ明ラカニ公法ト私法ト從テ民事ト行政事項トノ區別ヲスラモ認メサルモノナリシカ故ニ共ニ重要ナル論結ヲ生スルニ至ラサリキ

然ルニ普魯西ヲ初メトシ立憲政體カ諸國ニ行ハルルニ及ヒ合議體ノ組織ヲ有スル行政官廳ニ依リテ權利ノ救濟カ與ヘラルル保障ハ今ヤ漸ク止ミ國務大臣ノ憲法上ノ責任ノ制度ノ結果凡ユル官廳ハ國務大臣ニ絶對的ニ隷屬スルニ至リ法律問題ノ決定モ亦タ通常ノ行政事務ノ如クニ取扱ハレ有勢ナル政黨ノ意見ニ基ツキ政治上ノ利害ニ參酌シテ決セラルルノ恐アルニ至リ人ヲシテ權利ノ不安ヲ感セシムルモノアラシムルニ至リ遂ニ普魯西ノ法律ニ於テ財產上ノ內容ヲ有スル二三ノ公法上ノ權利ノ保護ハ司法裁判所ノ管掌ニ歸セシムルコトヲ定メタリ學者モ亦タ盛ニ行政訴訟ヲシテ司法裁判所ノ下ニ屬セシムルヘキコトヲ唱ヘタリ

然カレトモ一派ノ學者ハ之レニ反對セリ公法上ノ權利ノ保護ヲシテ完カラシメンニハ訴訟裁判ノ方法ニ依ラサルヘカラス然カレトモ公法上ノ權利ノ爭訟ハ國家ト私人トノ關係ニシテ私人相互ノ關係ト同シカラス特別ノ性質ヲ有スルモノアリ加之行政上ノ學識ナキ民事刑事ノ裁判官ヲシテ之レヲ取扱ハシムルハ不便モ亦タ少カラス判決ノ當ヲ失フノ恐アラントスルカ故ニ獨立ノ行政裁判所ヲ設ケテ之レニ任セシメサルヘカラスト爲セリ

前ニ述フルカ如ク獨立ノ行政裁判所ナケレハ公法上ノ權利ノ救濟以テ全タシト云フコトヲ得ス之レカ設立ヲ要求スルハ實ニ時勢ノ要求ニ合セリサレハ一八六三年バーデンニ於ケルモノヲ初メトシ漸ク諸國ニ行政裁判所ノ設ケヲ見ルニ至レリ一八七五年普魯西ニ置カレ次イテヘッセン、ヴュルテンベル

ヒ、バイエルン、アンハルトノ諸國ニ其ノ設ケアルニ至レリ

行政裁判ハ司法裁判ノ外ニ在リ

行政裁判ハ其ノ實質ヨリスレハ司法作用タリ然カレトモ之レヲ如上ノ理由ト沿革トニ依リ獨立ノ行政裁判所ヲシテ管掌セシメ司法裁判所ノ權限ニ屬セシメス行政裁判ノ觀念ヲ定メ其ノ之ニ屬スル權限ノ範圍ヲ劃セントスルニハ必ス其ノ之レト實質ヲ同シウスル司法裁判所トノ權限ノ分界ヲ定メサルヘカラス吾カ憲法第六十一條モ亦タ此ノ主旨ノ規定タルコト前ニ詳述セルカ如シ行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟ニシテ別ニ法律ヲ以テ定メタル行政裁判所ノ裁判ニ屬スヘキモノハ司法裁判所ニ於テ受理スルトコロニ在ラス行政裁判所ハ司法裁判所ト獨立ノ權限ヲ有スル裁判所タリ司法裁判所ハ民事刑事ノ裁判ヲ掌ルノトコロタリ民事刑事ノ裁判ヲ掌ル司法裁判所ハ行政官廳ノ違法處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟即チ行政訟訴ヲ裁判スルコトヲ得ス之レ憲法ノ定ムルトコロタリ

行政裁判ト司法裁判トノ區別

行政裁判ト民事裁判

民事ノ裁判ハ他ノ私人ニ依ル私人ノ私權ノ侵害ノ救濟ヲ目的トスルモノナリ行政裁判ハ行政官廳ニ依ル臣民ノ公權ノ保護ヲ目的トスルモノナリ其ノ目的トスルトコロ一ハ私權ニシテ他ハ公權タリ其ノ分ルルトコロハ一ニ茲ニ存ス私權ノ爭ニ於テハ相手方ハ平等ノ關係ニ於テ相對立ス國家モ亦タ私法上ノ關係ニ於テハ司法裁判所ノ裁判ヲ受クト雖モ其ノ相手方ト平等ノ關係ニ立ツモノトシテ之レヲ爲スハ私人ト異ナルコトナシ之レニ反シ公權ノ爭ニ於テハ訴フルトコロノ私人ハ私人トシテ之レヲ爲スニ非ス國家ニ對スル臣民トシテ之レヲ爲スナリ其ノ爭ハルルトコロハ臣民ニ對スル國家權力ノ行動ナリ其ノ臣民ニ對スル違法ノ侵害ニ對シテ救濟スルヲ行政裁判ノ目的ト爲ス

行政裁判ト刑事裁判

刑事ノ裁判ハ刑罰法ニ定メタル私人ノ不法ノ行爲ニ罰ヲ適用スルコトヲ目的トスルモノナリ行政ノ裁判モ亦タ其ノ維持セントスル目的ハ公法タリ其ノ公法ノ維持ヲ目的トスルハ同シ然カレトモ行政裁判ニ依リテ救濟セントスル權利侵害ノ行爲ハ官廳ノ違法處分タリ刑事裁判ニ在テハ私人ノ不法行爲タリ而カモ刑事裁判ニ在テハ單純ナル不法アルノミニテハ足ラス其ノ主

觀的ノ意思ヲ罰スルコト其ノ要點タリ固トヨリ官吏モ刑法上其ノ責任ヲ問ハルルコトアリ然カレトモ其ノ然カルハ官吏トシテニ非ス一私人トシテナリ

先決問題トシテノ行政事項ノ決定ハ司法裁判所ニ屬スル乎

全然其ノ決定カ司法裁判所ニ屬スルニ非ス其ノ決定ノ權限ハ行政官廳ニ屬シ之レニ關スル爭ハ行政裁判所ニ繋カルヘキモノニシテ司法裁判所カ其ノ本屬ノ事件ヲ裁判判決スルニ方リ先ツ之レカ決定ヲ見ルコトナケレハ之レヲ爲スコト能ハサルトキハ司法裁判所ハ其ノ決定權アル行政官廳又ハ行政裁判所ノ決定アルコトヲ俟タスシテ自カラ之レヲ決シ其ノ本屬ノ事件ノ判決ノ理由ト爲スコトヲ得ルモノアリ斯クノ如キハ決シテ權限ノ相侵スモノニ非ス以テ司法裁判所カ行政事項ヲ裁判スル場合ノ一ト爲スヘカラス何トナレハ此ノ場合ニ司法裁判所カ行政事項ニ就テ審査決定スルハ決シテ之レカ最後ノ決定ヲ與フルモノニ非ス斯クノ如クシテ司法裁判所ハ行政事項ニ就テ權限ヲ有スルモノト爲スヘシト雖モ其ノ審査決定ハ自己ノ本屬ノ司法裁判ノ事項ヲ決定スルノ先決問題トシテ其ノ之レニ一應ノ解釋ヲ與フルニ非スンハ本問題ヲ決定スルコト能ハサルカ故ニ之レニ一應ノ決定ヲ與フルノミ決シテ確定ノ最後ノ決定ヲ爲スニアラス即チ先決問題トシテ之レヲ決スル事實ノ解釋決定ナリ自己ニ屬スル法律問題ノ決定ニ非ス行政事項ハ司法裁判所ヨリ見レハ契約ニ於テ當事者ノ意思如何ヲ決定スルカ如キ事實問題ナリサレハ其ノ決定ノ當否ハ上告ノ理由トナルモノニ非ストセサルヘカラス事實ノ決定トシテ行政事項ノ先決ハ固トヨリ司法裁判所ノ爲シ得ルトコロトナササルヘカラス然ルニ佛蘭西ニ於テハ之レヲ權限相侵スモノト見ルカ行政ノ獨立ノ原則ヲ之レニモ適用スヘキモノトシ司法裁判所ハ判決ノ理由トシテモ行政ノ事項ヲ決定スルコトヲ得ス若シ此ノ如キ問題ニ接シタルトキハ直チニ裁判ヲ中止シ行政官廳又ハ行政裁判所ノ決定アルヲ俟ツヘキモノトス然カレトモ之レ佛蘭西ニ特別ナルトコロニシテ獨逸ニ在ツテハ旣ニ佛蘭西ニ於ケルカ如キ國王トバールマントノ舊時ノ爭ノ因襲モナク司法裁判所ノ權限ハ自ラ其ノ決定スル事件ノ性質ニ依リテ定マリ之レカ先決問題トシテ行政事項ヲ審査決定スルコトヲ得ルモノトセリ之レ固トヨリ性

質上至當ノコトニ屬セリ

斯クノ如クニシテ實質上司法作用タル行政裁判ハ形式上司法ヨリ分離セラル次ニ形式上行政ノ區域ニ於テ行政裁判ハ實質上形式上行政行爲ト如何ニ相分カルルカヲ明ラカニスルニ於テ行政裁判ノ範圍明確トナリ其ノ觀念モ亦タ定マルコトヲ得ヘシ

行政裁判ハ實質上行政行爲ニ非ス

實質上行政裁判ノ行政行爲ト相分カルルハ其ノ裁判タル點ニ存ス

行政裁判ハ裁判ナリ

行政裁判ハ裁判ナリ裁判ハ法ノ適用ヲ目的トシ其ノ實質トスルコト前ニ屢屢之レヲ論セリサレハ行政裁判ハ行政ノ區域ニ於ケル法ノ適用ノ作用タリ其ノ目的ハ法ノ爭ヲ決定スルニ在リ特定ノ現實ノ場合ニ何カ法ナルカヲ定メテ具體的ニ之レヲ適用ス之レ裁判ノ實質ノ觀念ナリ

之レヲ前ニモ述ヘタルカ如ク裁判タル法ノ適用ト行政行爲カ法ノ規定詳密ニ過クルノ結果トシテ其ノ法ノ適用タルニ止マル場合トハ明ラカニ之レヲ區別セサルヘカラス然ルヲ或ハ之レヲ區別セス行政裁判トハ凡テノ法ノ適用ノ作用タリト爲ス者アリ然カレトモ裁判トシテノ法ノ適用ハ其ノ目的モ法ノ適用タリ其ノ然カラサルモノハ其ノ作用法ノ適用タルト雖モ云ハハ偶然ノ結果ニシテ其ノ目的ハ法ノ適用ニアラス即チ法ノ適用ヲ以テ結局スルモノニ非ス諸般ノ行政行爲ニ於テ法ノ適用タル外觀ヲ呈スル場合ハ極メテ多シト雖モ其ノ之レヲ目的トスル眞ノ裁判トハ之レヲ區別セサルヘカラス

行政裁判ノ目的ハ法ノ維持ニシテ常ニ必スシモ權利ノ保護ニ非ス

行政裁判ハ法ノ適用ナリ然カレトモ其ハ常ニ權利ノ保護カ相伴フト爲スコト能ハス其ノ初メ行政裁判ノ發達スルニ至リシハ臣民ノ公法上ノ權利ニ救濟ノ方法ヲ與ヘテ之レヲ保障シ依テ以テ國家ノ行動ノ規律ヲ維持センコトヲ期スルニ在リ之レヲ以テ行政裁判ハ公法上ノ權利ノ救濟ノ方法ナリ訴權ナケレハ權利ナシ公法上ノ權利ヲシテ權利タルノ所以ヲ完タカラシムルノ方法タリサレハ行政裁判ハ權利ノ保護ヲ以テ其ノ目的ト爲スヘキモノタリト爲スモノ甚タ汎ク行ハレタル學說タリ吾輩モ亦タ其ノ然カルヲ信セントス彼ノ公法上ニハ權利ナシ從テ其ノ保護ヲ目的トスル裁判ナシト云フカ如キハ採ルヘカラサルハ固トヨリ假令之レアリトスルモ行政裁判ニ於テ臣民ヲシテ出訴スルコトヲ得セシムルハ行政法維持ノ手段ヲ與フルニ過キサル

便宜ノ方法ニシテ常ニ權利アルカ故ニ訴權アリトスルニ非スト爲スノ極端論ノ誤マレルハ深ク論スル迄モナシ行政裁判ノ目的タル法ニ於テ認メラレタル權利ノ保護ニ在ルヤ云フ迄モナシ法ノ維持ト權利ノ保護トハ理論上相一致スル法アルトコロニ權利アリ權利ヲ認メサルハ法ニ非ス若シ法ノ發達ノ程度ノ完成セル有樣ヲ想像シ權利ノ保護トハ何ソヤト云ハハ法ノ維持ニ外ナラス然カレトモ此ノ時ニモ尙ホ行政裁判ノ目的トハ何ソヤト云ハハ權利ノ保護ナリト答ヘサルヘカラス何トナレハ行政裁判ノ制度ノ發達セルハ行政官廳ノ處分ヲ以テシテハ臣民ニ權利ノ享有ノ安堵アルコト能ハサルヲ救フニ在レハ權利ノ保護カ其ノ目的ニ非スト云ハハ其ノ本領初メヨリ沒セントスサレハ吾輩ハ行政裁判ノ目的ハ權利ノ保護ニ在リ其ノ範圍ハ權利ノ保護ニ在リト爲ス然カレトモ同時ニ法ノ維持カ其ノ目的タルコトヲ忘ルヘカラス純理ヨリスレハ法ノ維持トハ即チ之レニ由ル權利ノ保護ナレハ其ノ範圍ヲ同シウスレハナリ行政裁判ハ法ノ維持ナリ權利ノ保護ノ手段ニアラスト云フハ吾輩ノ採ラサルトコロニシテ之レカ爲メニ附會ノ說ヲ爲シ公法ノ區域ニ於テハ法ハ常ニ公益ノ爲メニ維持セラレサルヘカラス私人ニ權利アルト否トヲ問ハスト云フカ如キ恰モ法ト權利ト相交涉セサルカ如キ說明ヲ爲サンコトヲ欲セス然カレトモ權利ノ保護ハ同時ニ法ノ範圍ナリト云フハ法ノ完全ナル有樣ニ於テノミ之レヲ云フコトヲ得ルモノタルハ之レヲ忘ルヘカラス今日ノ有樣ニ在テ公法ハ未タ此ノ域ニ達セス之レ吾輩カ行政裁判ハ權利ノ保護タルコトヲ信シツツモ常ニ權利ノ保護ニ非スト初メニ云ヘル所以ナリ行政法ノ發達ハ未タ極メテ幼稚ニシテ權利ノ發生カ常ニ其ノ結果タルコト能ハス未タ權利ト稱スヘカラサル利益ノ關係ヲ生スルニ止マルコト屢々之レアリトセリ權利ノ保護カ行政裁判ノ目的タリト云ハントスルトキハ法ノ維持ハ至ラヌ隈ナキコトヲ得ス之レヲ至ラヌ隈ナカラシメントスレハ權利ニ非サルモノヲ強テ權利ト呼ハサルヘカラサルニ至ラントスサレハ現實ノ有樣ニ於テハ法ノ維持ト云フト權利ノ保護ト云フトハ意義ト範圍異ナレリ而カモ尙ホ強テ行政裁判ハ權利ノ保護ナリト云フニ及ハス法ノ維持カ其ノ目的タリト云フヘシ唯タ其ノ主タル場合ハ同時ニ權利ノ保護タリ

其ノ相一致スルニ至テ法ハ完全ニ發達シタリト爲スコトハ之レヲ忘ルヘカラス

自由裁量ノ行爲ハ行政裁判ノ目的タルコトヲ得ス

然カレトモ行政裁判ハ常ニ法ノ適用以上ニ出ツルコト能ハス即チ自由裁量ノ行政行爲ハ行政裁判ノ目的タルコトヲ得サルナリ或ハ立法ニ於テ之レヲ明言スルモノアリ依テ以テ行政裁判ノ觀念ト範圍ヲ定メントスルナリ之レ實ニ裁判ノ性質上正ニ然カルヘキトコロニ屬シ利害便宜ヲ酌量スルコトニ依リテ爲サルル行爲ハ法ノ適用ノ問題ニ非スシテ又タ固トヨリ裁判ヲ以テ決スルヲ得ルトコロニ非サルナリ自由裁量トハ何ヲ云フカ一見明ラカナルカ如クニシテ必スシモ然カラス而カモ其ノ意義ノ廣狹如何ハ定メラレサルヘカラサル重要ノ關係アリ其ハ或ハ學者ノ云フカ如ク其ノ行爲ノ義務カ確定シタル一人ニ對シテ存セス從テ訴權ノ與ヘラレタリト見ルヘキ特定ノ人ナキ場合ヲ云フカ又タ或ハ學者ノ云フカ如ク事實的ノ性質ヲ有シ行政ノ技術的ノ裁量ニ屬スル關係ヲ云フカ吾輩ノ見ルトコロヲ以テスレハ自由裁量トハ決定ノ自由カ或ル程度ニ於テ自己ニ屬スルコトヲ意義スルナリ其ノ反對ハ拘束セラレタル行爲ニシテ其ノ決定ハ既ニ自己ニ非スシテ法ニ在リ自己ハ唯タ其ノ決定ヲ個個ノ規定ノ場合ニ言明スルノミ何等ノ自發的ニ決定スルトコロナキモノヲ云フ云ハハ己レニ發スルノ作用ニ非ス其ノ己レニ發シ決定ノ自由ノ屬スルモノヲ自由裁量ト爲ス其ノ之レヲ爲スノ義務アリヤ否ハ自由裁量タルニ害ナシ之レヲ爲スノ義務カ法ニ定マル場合ト雖モ如何ニ之レヲ決定スルヤノ自由己レニ屬セハ自由裁量タルヲ失ハス又タ事實的決定カ自由裁量ナリト云フハ狹マシ法律的ナルモノニ於テモ自由裁量ハ之レアリ法律上裁定ノ自由ノ屬スル場合ハ凡テ自由裁量タリ

行政裁判ノ作用モ亦タ自由裁量タルコトヲ得ス

其ノ目的物カ自由裁量ノ行爲タルコトヲ得サルノミナラス行政裁判其ノ者ノ作用モ自由裁量タルヲ得ス彼レハムシロ此レノ結果タリ之レ裁判タルノ性質ナリ然カレトモ行政裁判ハ自己ニ何事ヲモ決定スルヲ得サルノミ法ノ決定ヲ現實ニスルニ方リ各個ノ場合ニ對シテハ毫モ事情ノ酌量ナクシテハ何ノ裁判ヲモ爲スコト能ハサラン現實ノ場合ニ酌ムコトハ裁判ニモ亦タ必要ナルトコロニシテ之レヲモ爲スコトヲ得スト云フハ裁判ヲモ全然無キニ

了ラシメントスルモノナリ然カレトモ之レ行政裁判ノ實質的範圍ナリ立法ハ之レニ對シテ自由ナル撰擇ヲ爲スコトヲ得ヘシ或ハ權利ノ保護ニ限ルコトヲ得ヘク又タ擴張シテ自由裁量ノ問題ニモ及ホスコトヲ得ヘク又タ混同シテ其ノ範圍ニ入ルヘキ事項ヲ列擧スルコトモ爲シ得ヘシ形式的ニ行政裁判ニ屬スル事項ハ其ノ實質ノ示ストコロト諸國ニ於テ必スシモ同シカラス司法裁判所トノ關係ニ就テスラモ然カルハ前ニ述ヘタル如シ行政官廳トノ關係ニ就テモ法ノ定メハ純理ト相一致セス

形式的行政裁判事項

原則的ニ行政裁判事項ヲ定ムルハ一切ノ場合ヲ網羅スルコトヲ得ヘク理想上ヨリ云ヘハ完全ナリトセサルヘカラスシテ法ノ發達ノ完全ナル有樣ニ達シタランニハ之レヲ以テ十分ナル方法トスヘシ然カレトモ今日ノ行政法ノ有樣ニ在テハ前ニモ述ヘタル如ク權利ノ存在ハ決シテ明確ニ之レヲ認ムヘカラスシテ原則的ニ行政裁判事項ヲ定ムルカ如キハ不可能ナルノミナラス強テ之レヲ爲サハ一切ノ場合ハ却テ網羅スルコトヲ得スシテ制度ノ目的ヲ完全ニ達スルコト能ハサルノ結果ヲ生セントスサレハムシロ必要ノアルトコロニ之レヲ許スノ方針ニ出テテ到處ニ行政裁判事項ヲ定ムルノ適切ナルニ如カス原則的ニ之レヲ定ムルコトアリトモ少クトモ其ノ補充ノ爲メニ此ノ列擧ノ方法ヲ採ルヘシ而シテ之レ最モ汎ク諸國ニ行ハルルトコロナリ吾カ國法モ亦タ原則トシテ個個ノ場合ノ定メニ依ルノ方法ヲ採レリ唯タ明治二十三年十月法律第百六號ヲ以テ稍ヤ原則的ニ左ニ掲クル事件ニ付キ行政廳ノ違法ノ處分ニ由リ權利ヲ毀損セラレタリトスル者ハ行政訴訟ヲ提出スルコトヲ得ル旨ヲ定メタリ

第一 海關税ヲ除ク外租税及ヒ手數料ノ賦課ニ關スル件

第二 租税滯納處分ニ關スル件

第三 營業免許ノ拒否又ハ取消ニ關スル件

第四 水利及ヒ土木ニ關スル件

第五 土地ノ官民有區分ノ査定ニ關スル件

行政裁判ノ裁判タル

行政裁判ハ以上ノ範圍ノ事項ニ關スル裁判ナリ其ノ裁判トシテ法ノ維持ヲ

ル所以ヲ成ス要件

爲ス所以ハ次キノ諸件ニ依リテ完全ナルコトヲ得第一ニハ行政裁判ハ獨立ノ裁判所ニ依リテ行ハレサルヘカラス獨立ナリトハ司法裁判所ノ下ニ立タス又タ行政官廳ノ羈束ヲ受ケサルノ謂ニシテ行政裁判ノ發達ノ歴史カ實ニ之レヲ要スルノミナラス之レニ非スンハ以テ裁判ノ裁判タル所以ヲ完ウスルコトヲ得サルナリ次キニハ行政裁判ハ其ノ手續カ法律ニ依リテ定メラレサルヘカラス命令ヲ以テ之レヲ定ムルハ行政裁判ヲ以テ行政官廳ノ下ニ置クモノニシテ其ノ獨立タル所以ヲ失フ第三ニ行政裁判ハ其ノ手續上裁判アル前ニ當事者ノ參與アルコトヲ要件トス之レ裁判ノ手續上ノ特質ニシテ行政行爲ト異ナル要點タリ行政行爲ニ在テモ其ノ利益ヲ受ケ侵害ヲ被ムル者ヲシテ事實ヲ陳述セシメ意見ヲ聽クコト又タ固トヨリ屢々之レヲ缺クト雖モ行政行爲タル所以ヲ失フモノニ非ス其ノ成立要件ヲ缺クモノニ非ス然カレトモ裁判ニ在テハ當事者ヲシテ陳述セシムルコト其ノ手續上缺クヘカラサル要件タリ法ハ之レヲ必要トシ當事者ハ其ノ手續ニ參與スル權利ヲ有ス之レヲ缺キタル判決ハ違法ナル判決ニシテ裁判ノ判決タル所以ヲ失フ裁判ハ當事者ニ對シテ其ノ羈束ノ力ヲ有ス

最後ニ其ノ判決ノ羈束力ヲ有スルコトカ又タ裁判タルノ特色ナリ羈束力トハ單ニ强行ノ力ヲ有スルノ意ニ非ス强行ノ力ヲ有スルハ判決ニ限ラス行政行爲ニモ之レアリ其ノ之レヲ受クル者ニ對シテ强制シテ行ハル判決ノ羈束力ハ其ノ變更スルコトヲ得サル法力ヲ云フ而シテ其ノ變更スルコトヲ得サル法力ハ當事者ニ對シテ存スルコト之レ裁判タルノ特色タリ當事者トハ裁判ニ由リテ其ノ法律上ノ關係カ確定セラルヘキ權利主體ヲ云フ此ノ者ノ參與ヲ手續上必要トスル所以ハ此ノ者ニ對シテ判決ノ羈束力ヲ生セシムルカ爲メナリ詳言スレハ判決ノ變更シ得ヘカラサルコトヲ當事者ニ係ラシメンカ爲メナリ即チ判決ノ變更シ得ヘカラサルコトハ當事者ニ屬スル權利ナリ訴訟ニ參與シタル當事者ハ權利トシテ判決ノ變更セラレ得ヘカラサルコトノ保障ヲ有ス之レ裁判ノ特色ニシテ行政行爲ニ之レナキトコロ裁判ハ當事者ノ參與ヲ手續上要件トスト云フハ當事者ヲシテ判決ノ變更シ得ヘカラサル上ニ權利ヲ有セシムルト云フト結局相同シ之レヲ判決ノ羈束力ト云フ

行政裁判ノ特質ヲ成スノ要項タリ

行政裁判所ノ組織

行政裁判所ハ之レヲ東京ニ置ク長官及ヒ評定官ヲ以テ組織ス一般官吏ニ同シク天皇ノ任命スルトコロナリ長官及ヒ評定官ハ三十歳以上ニシテ五年以上高等行政官ノ職ヲ奉シタルモノ若クハ裁判官ノ職ヲ奉シタル者タルコトヲ要ス長官及ヒ評定官ハ地位ノ保障ヲ有シ刑法ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルニ非サレハ其ノ意ニ反シテ退官轉官又ハ非職ヲ命セラルルコトナシ身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ内閣總理大臣ハ行政裁判所ノ總會ノ決議ヲ經テ之レヲ上奏ス

出訴

行政裁判ハ出訴ヲ俟テ行ハル行政裁判ノ目的タル一ニハ行政ノ監督ニ在リテ或ハ其ノ信スルトコロニ依リ裁判所ハ裁判ヲ爲スコトヲ得トスヘキカ如シト雖モ斯クノ如キハ裁判ノ性質ニ反シ權利ノ保護救濟ナル旨ニ合ハサルカ故ニ出訴ヲ以テ裁判開始ノ原因ト爲ス出訴ノ權ヲ有スル者ハ行政訴訟ノ

出訴ノ權ヲ有スル者

種類ニ依リテ一ナラス其ノ權利ノ傷害ニ對スル救濟ヲ求ムルモノニ在テハ原告タルモノハ其ノ權利ヲ傷害セラレタリトスル私人又ハ公共團體ナリ其ノ法ノ維持ノミヲ目的トスルモノニ在テハ一ニ其ノ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ許ルス法ノ定ムルトコロニ依ル之レヲ例ヘハ府縣會府縣參事會議員ノ選擧ニ關スル行政訴訟ハ府縣知事郡市長ヲ原告トシ選擧ニ關スル(ぽぷらーるくらーげ)ニ在テ選擧人ニ出訴ノ權ヲ與ヘタルカコトシ後ノ場合ハ法ノ維持ヲ目的トスルモノニシテ權利ノ傷害ノ救濟ヲ求ル者ニアラス之レ等ノモノハ嚴格ニ原告ト云フヘキモノニアラス唯タ訴訟手續上其ノ形式ニ居ルノミ

行政訴訟ノ被告

訴ヘラルル被告ハ何人ナルカ行政訴訟ノ目的カ法ノ維持ニ在ル場合ニハ其法ノ維持ノ目的ヲ最モ良ク遂スル爲ニ原告タルヘキ者カ法ニ指定セラルルカ如ク被告モ亦タ指定セラル殊ニ所謂ル對等者間ノ訴訟ノ場合ニハ被告ノ何人タルヤハ極メテ明ラカナリ然カレトモ行政官廳ノ違法ノ處分ニ由リ權利ヲ傷害セラレタリトスルノ訴訟ニ在テハ何人カ被告タルヤハ斯クノ如ク明瞭ナルヲ得ス學者或ハ行政訴訟ニハ當事者ナシトスルモノアリ原告モ又ナシトスルナリ行政訴訟ヲ以テ全然法ノ維持ノ手段ナリト爲スモノハ又自

ラ此ノ種ノ見解ヲ採レリ行政訴訟ハ法ノ維持ヲ目的トスルモノニシテ其ノ訴訟手續ニ於テ當事者タル如キ形ヲ取ル者ハ眞ノ民事訴訟ノ觀念ニ於ケル當事者ト云フヘキモノニアラス唯タ訴訟ノ如キ形ヲ取リ得セシムルカ爲メニ形ノ上ニ當事者タル地位ニ居ラシムルニ過キスト爲ス其ノ採ルヘカラサルハ深ク論スル迄モナシ或ハ原告ヲ認ムル學者ニシテ此ノ種ノ行政訴訟ニハ眞ノ被告ナシトスル者アリ曰ク國家ハ決シテ訴ヘラルルコトヲ得ルモノニ非ス國家ハ行政裁判所ニ依リテ代表セラルル裁判スル者カ被告タルコトナシ被告ナルカノ如キ形ヲ取ル官廳ノ代表者ハ行政裁判所ト合一シテ原告ニ對スル裁判所ヲ成スモノナリト又タ或ハ行政官廳ヲ以テ被告ナリトスルモノアリ然カレトモ行政官廳ヲ被告トスレハ官廳ノ觀念ニモ反シ又タ當事者ノ觀念ニモ反ス官廳ハ訴訟手續上當事者ノ位地ニ置カレ訴訟ヲ可能ナラシムト雖モ決シテ眞ノ當事者ニアラスシテ行政訴訟ノ被告ハ國家ナリ係爭ノ處分ハ國家ノ處分ニシテ傷害セラレタリトスル權利ハ國家ニ對スル權利ナリ傷害シタル者ハ國家ナリ行政裁判所モ國家ヲ代表スレトモ其ハ毫モ差支ナキハ苟クモ行政法ノ存在ヲ認ムル者ノ立所ニ容ルストコロナラン

被告ノ地位ニ置カルル官廳

然カレトモ訴訟手續上當事者ノ地位ニ居ル者ハ官廳ナリ如何ナル官廳カ被告ノ地位ニ置カルルヤト云フニ行政官廳ノ處分ニ對シテ訴訟ヲ提起スル場合ニハ固トヨリ其ノ處分ヲ爲セル官廳カ被告タリ一タヒ訴願ノ手續ヲ經由スヘキ場合ニハ上級行政官廳ノ判決ハ前ノ處分ニ代ハルモノナレハ裁判ヲ爲シタル上級行政官廳カ被告タリト見ルヘシ

判決ノ内容及ヒ效力

行政裁判ノ裁判ハ裁判ノ宣告ヲ以テス原告ノ申立ヲ却ソケ又ハ之レヲ容ルモノタリ原告ノ申立ヲ却クルトキハ係爭ノ行政處分ハ前ノコトクニ存續シテ變更アルコトナシ之レヲ容ルルトキハ行政處分ノ取消又ハ變更ヲ命ス行政裁判所ハ原告カ行政處分ノ取消ヲ求メタルニ之レカ變更ヲ命スルコトヲ得ヘク變更ヲ求メタルニ之レカ取消ヲ爲シ又ハ程度ノ異ナル變更ヲ爲スコトヲ得ヘシ出訴ハ行政訴訟開始ノ原因ニシテ行政處分ハ妄リニ變更スヘキモノニアラスト雖モ法ハ當事者ノ要求ナシト雖モ行ハルヘキハ國家ノ利益トスルトコロニシテ行政訴訟ハ唯トリ當事者ノ權利ノ救濟ノ爲メノミナラ

ス又タ兼テ行政ノ監督ヲ為スニ在ルカ故ニ行政裁判所ハ原告ノ請求ニ由リテ拘束セラルルコトナク事實ヲ審査シテ獨立ノ判定ヲ為スコトヲ得ルナリ然カレトモ係爭ノ行政處分ノ外ニ渉タリ又タ係爭ノ問題ノ外ニ就テ裁判スルハ固ヨリ出訴ナキニ裁判スルモノニシテ許ルサルルトコロニ非ス

判決ノ羈束力

裁判ハ當事者ノ為メニ羈束ノ力ヲ有ス當事者ハ裁判ノ變更スヘカラサルコトノ上ニ權利ヲ有スルモノタルコト前ニ之レヲ述ヘタリ同シ事件ニ就イテ相手方タル官廳其ノ他ノ者ニ對シ既決事項タルノ抗辯ヲ為スコトヲ得ヘシ

判決ノ羈束力ハ又訴訟ニ參加シタル第三者ノ為メニモ存ス第三者ヲシテ訴訟ニ參加セシムルハ此ノ者ノ為メニモ羈束力ヲ生セシメンカ為メニシテ之レニ依リテ第三者ハ當事者ト同シク判決ノ變更スヘカラサルコトノ上ニ權利ヲ有スルナリ

判決ノ羈束力ノ上ノ權利ハ此ノ以外ノ者ノ為メニ生スルコトナシ利害ノ關係ヲ有スル者ト雖モ其ノ不可變更ヲ主張スルヲ得ス然カレトモ此ノ權利ハ公法上ノ權利カ承繼セラルヘキ限リ係爭ノ公權ノ移轉ト共ニ承繼セラルト為スヘシ

判決ニ依リテ羈束セラルル者ハ關係ノ行政官廳ナリ被告ト為リシ行政官廳ハ固トヨリ羈束セラレ判決カ命スル如ク處分ノ取消又ハ變更ヲ為サヽルヘカラス被告ト為リシモノニアラスト雖モ當事者ノ為メニ羈束力ヲ生スル結果トシテ其ノ限度ニ於テ羈束セラル

然カレトモ羈束力ハ判決ノ目的ト為リシ特定ノ關係ニ就テ存スルノミ之レト獨立ナル法律上ノ根據ニ由リ不可變更ヲ動カスコトヲ得ヘシ法ノ廢止變更ノ前提條件タル事實ノ變更ハ新タナル根據ニ由ル侵害ヲ可能ナラシム

第四節　會計

憲法カ議會ニ許シタル行政監視ノ第一義ハ國家ノ會計ノ豫算ノ決定ニ參與セシムルコトニ在リ——豫算議定權ヲ議會ニ附與シタル制度ハ原ト英國ニ始マル——豫算ノ議會ノ議定ニ供フルハ主ラ歳出ノ部分ニ在リ——豫算議定ノ法律上ノ意義——豫算ハ議會カ訓令シ委任スル所ニ非ス——豫算ノ裁可モ亦法律案ノ裁可ノ如シ——裁可ハ議會ニ對スル應答ニ非ス——豫算ハ裁可ヲ要スルモノニ非ストノ說——豫算ノ性質——豫算ハ法律ニ非ス——議會ノ豫算議定權ノ範圍

——第一制限——第二制限——第三制限——第四制限——憲法上ノ大權ニ基ケル既定ノ歳出トハ何ソ——既定ノ歳出ノ意義——豫算ニ關スル　六十七條ト條約ニ關スル規定トノ關係——憲法第六十七條ハ議會當然ノ豫算議定權ヲ制限シタルモノナリ——憲法第六十七條ハ凡テ放漫ナル解釋ヲ許サス——法律ノ結果ニ依ルノ歳出トハ何ソ——法律ノ規定當然ノ結果トシテ必要ナル歳出——政府ノ同意ヲ得テ廢除削減スルコトヲ得ルハ議會當然ノ權限ノ範圍ニ屬スル事項ニ限ル——法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出トハ何ソ——法律上ノ義務トハ法律命令及國際公等凡テ法上ノ判斷ニ依リテ政府ノ義務トセラルルモノヲ云フ——豫算議定權ノ制限ノ規定ハ實際ノ酌量ヲ政府ノ權能ニ屬セシメタルモノナリ——豫算ノ編成及豫算議定ノ先後——豫算ノ效力——豫算ノ超過及豫算外ノ支出——豫算外ノ支出ハ違憲ナルモノ乎——後日議會ノ承諾ヲ求ムルハ政府ノ責任解除ニ非ス——豫算ノ不成立——國債ヲ起シ及豫算外ニ國庫ノ負擔ト爲ルヘキ契約ニ關スル議會ノ協贊——財政上ノ緊急處分——財政上ノ緊急處分ト緊急命令トノ區別——會計檢査院ト議會ノ決算審査ノ權能

立憲政體ノ主旨トスルトコロハ國家ノ各種ノ行動ニ一定ノ形式ヲ定メ一定ノ機關ヲ設ケ之ニ依リ行フコトヲ要件トシテ專制ニ陷リ人ノ自由ノ沒セラレントスルヲ防クニ在リトスルハ屢々說ケルトコロタリサレハ立憲政體ハ各種ノ國家ノ行動ヲシテ相互ニ節制セシメ監督セシメ以テ其ノ宜キヲ得セシメントスルノ政體タリ三權分立ノ主旨ハ相互ノ節制ノ制度ト相竢テ立憲政體ヲ完成ス

憲法カ議會ニ許シタル行政監視ノ第一義ハ國家ノ會計ノ豫算ノ決定ニ參與セシムルコトニ在リ

諸國ノ立憲政體ハ此ノ主旨ニ出テテ立法ノ機關タル議會ヲ以テ又兼ネテ行政ノ監視者タラシメタリ前ニ議會ノ權限ヲ說クニ當リ述ヘタリ如何ノ方法ヲ以テ議會カ行政ヲ監視スルカノ憲法ニ許サレタル監視ノ方法ハ之ヲ列擧シ說明シタリト記憶ス其ノ最モ著明ニシテ有效ナルハ議會ヲシテ豫算ノ議定ノ方法ヲ以テ國家ノ會計支出ヲ監視セシムルコトナリ行政ノ費用ノ支辨ハ之ヲ見積リテ豫算ヲ以テ定ムヘク之レヲ定ムルカ爲メニハ先ツ議會ノ議定ヲ經ルコトヲ要スト爲シ之レヲ憲法上ノ要件ト爲サハ其ノ行政ヲ監視スルノ目的ニ於テ遺憾ナキコトヲ期スルコトヲ得ヘシ之レ立憲政體ノ諸國ニ於テ議會ヲ以テ會計ノ豫算ノ議定ニ參與スルノ權ヲ與ヘタル所以ニシテ又立憲政體ノ一義タリ我カ憲法モ亦之レヲシテ憲法上ノ要件トシ定メタリ國家ノ行政ノ作用ニ就キ特ニ會計ヲ執テ講義ニ說明スル所以ナリ

豫算議定權ヲ議會ニ附與シタル制度ハ原ト英

國家財用ノ豫算ヲ議會ノ參與ヲ竢テ定ムヘシトスルハ如上ノ主旨ニ依ル之レヲ沿革ニ跡ヌレハ原ト英國ニ於テ租稅ヲ年年議會ノ承諾スルトコロト爲

國ニ始マル

シタルニ本ツクト雖モ其ノ後漸ク變遷シテ此ノ制定カ立憲政體ノ一義トシテ採用セラルルニ至リテハ一轉シテ行政機關カ國財ヲ如何ニ使用スルカヲ監視シテ行政ヲ節制スルノ方法タルニ至レリ我カ憲法ノ豫算ハ帝國議會ノ協賛ヲ以テ之レヲ定ムヘシト爲スモ亦タ此ノ主旨ニ出テタリ

豫算ノ議會ノ議定ニ供フルハ主ラ歳出ノ部分ニ在リ

凡テ國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ要ス歳入モ亦タ豫算ニ之レヲ掲ケ議會ノ協賛ニ供フト雖モ之レ歳入ナケレハ歳出アルコトヲ得サルカ故ニ之レカ見積ヲ掲ケテ歳出ノ源ヲ示スノミ之レヲ議定ニ委スルニ非ス租稅ハ年年議會ノ協賛ヲ經テ之レヲ定ムルコトナシト雖モ法律ノ結果トシテ當然入リ來ルトコロナリ何ソ新ニ協賛ヲ竢タン其ノ額モ亦タ法律ヲ事實ニ當テテ實行スルニ依リ定マル一ニ事實タリ何人ト雖モ之レヲ豫定スルコト能ハス唯タ大體ノ見積ヲ爲スノミ議會ハ之レヲ如何トモスルコト能ハサルナリサレハ豫算ノ議會ノ議定ニ供スルハ主ラ歳出ノ部分ニ在リ之レカ見積リヲ定ムルニ議會ノ議定ヲ憲法上ノ要件トスルモノナリ

豫算議定ノ法律上ノ意義

サレハ議會ノ協賛ノ性質タル固ヨリ明カナルノミ天皇カ豫算ヲ定メ之ヲ行政機關ニ命スルニ豫メ議會ノ議定ヲ經ルコトヲ要スト爲シタルニ依ル一ノ豫算ヲ定ムルノ手續タルノミ法律ノ協賛ノ如シ天皇カ豫算ヲ定ムルニ必要ナル憲法上ノ手續タルノミ素ヨリ議會カ自ラ之ヲ定メテ行政機關ニ訓令シ又ハ委任スルニ非ス議會ハ行政ヲ監視スレトモ自ラ行政ノ機關タルニ非ス議會ハ非獨立機關タリ天皇ノ事ヲ定ムルニ內部ニ在テ參與スルノミ其ノ決スルトコロ直チニ國家ノ意思タルノ地位ニ居ルモノニ非ス財政權ヲ行政機關ニ委任スルモノナリトノ思想ハ國會政治ノ國ニ存スル所ナレトモ又素ヨリ純正ナル我カ君主國體ノ容ルルトコロニアラス議會ノ豫算ニ對スル協賛ハ唯タ議會カ之レヲ以テ會計ノ見積ト爲スヲ可トスルノ意見ヲ天皇ニ上ルノミ其ノ他ニ法律上ノ意義ナシ之レヲ憲法ハ天皇カ必ス經ヘキノ手續ト爲スカ故ニ以テ議會ノ行政ヲ監視スル所以ト爲スノミ其ノ法律上ノ性質ハ意見ヲ上ルト云フニ過キス

豫算ハ議會カ訓令シ委任スル所ニ非ス

然レトモ之ヲ以テ議會カ會計ヲ議定スルニ付キ可否ノ自由ナシト云フニ非サルコト云フ迄モナシ法律案ノ議定ト異ルトコロナシ提出セラレタル豫算

案ヲ修正スルモ亦可ナリ然ラサレハ之レヲ以テ行政ヲ監視スル所以ノ方ト爲シ憲法ニ之レヲ要件トシタルノ主旨ヲ沒セントス唯タ之レニ意見ヲルニ過キスト云フハ豫算ハ議會ノ自ラ定メテ訓令シ委任スルニ非サルコヲ示スノミ

議會ノ豫算ヲ議定スルハ憲法上ノ要件タリ然レトモ天皇ニ意見ヲ上ルノ此ノ點特ニ之レヲ明カニ區別ス之ヲ混同シテ或ハ議會ノ豫算議定權ヲ輕蔑シ或ハ之ヲ過重スルコト勿レ凡テ國家ノ歳入歳出ハ毎年豫算ヲ以テ帝國議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ要ス協賛ノ法律上ノ性質ハ議會ノ之レヲ豫算ノ内容トスルヲ可トスルノ意見ノ上申タリ豫算ハ天皇ノ定ムルトコロタリ行政機關ニ命シテ之ヲ以テ支出ノ據則ト爲シ之レヲ超ユルコトナカランコトヲ訓令スルハ天皇タリ天皇ハ行政ノ統督者タリ支出ノ見積ヲ定メテ命スルモ亦タ天皇タラサルヘカラス天皇ノ此ノ權能ヲ奪テ議會ニ附スルハ憲法ノ意ニ非ス純正ナル君主國體ノ容レサルトコロナリ豫算ハ天皇ノ定ムルトコロタラサルヘカラス天皇カ議會ノ議定セル意見ヲ豫算トシ定ムルコトヲ可トシ之レヲ嘉納スルトキハ行政機關ニ對シテ之レヲ豫算ト爲シ之レニ依リテ行政機關ハ費用ノ支辨ニ就テ拘束ヲ受ク議會カ直接ニ命スルトコロニ非サルナリ

豫算ノ裁可モ亦法律案ノ裁可ノ如シ

豫算ノ裁可モ亦タ法律案ノ裁可ノ如シ立法論トシテハ必スシモ之レヲ必要ナル手續トセス然レトモ從來豫算ハ裁可ヲ經テ之レヲ行政機關ニ命シタリ

裁可ハ議會ニ對スル應答ニ非ス

裁可ハ議會ノ議定シタルトコロヲ嘉納シ之レヲ豫算ト爲スノ意ヲ宣示ヘルノミ素ヨリ議會ニ對スル應答ニ非スト雖モ又直チニ拘束ノ力ヲ生スル手續ニアラス法律ノ公布ニ就キ述ヘタルカ如シ世或ハ豫算ハ裁可ヲ要スルヤ否ヤノ問題ヲ揭クルモノアリ之レト茲ニ說明スルトコロトハ論點異ル然レトモ一應其ノ說ヲ擧クレハ之レヲ要ストスル者ハ議會ノ議定ニ依リ豫算定マルニ非ス議會ハ意見ヲ成案シ上ルノミ之レヲ豫算トシテ命令スルハ天皇ノ裁可ヲ竢タサルヘカラスト爲スナリ天皇ヲ以テ豫算ヲ定ムルモノトシ議會ハ唯タ之レカ案ヲ上ルノミト爲スハ甚タ當レリ予カ右ニ述フルトコロノ如シ唯タ裁可ノ文字ノ用法誤レルノミ之レヲ此ノ意ニ裁可ノ文字ヲ用キ豫算

豫算ハ裁可ヲ要スルモノニ非ストノ說

ハ裁可ヲ要セスト爲スハ其ノ誤タル云ヲ俟タス論者ハ議會ノ上ルトコロノ成案ヲ以テ豫算ト爲スナリ之レヲ豫算ト名クレハ素ヨリ天皇ノ裁可アルコトヲ要セス天皇ハ議會ノ一部ヲ形成スルモノニ非サレハナリ然レトモ豫算ハ會計ノ見積ニシテ法律上行政機關ヲ拘束スルモノタリ天皇ノ行爲ヲ俟テ成立スルモノト爲ササルヘカラス若シ此ノ意ニ豫算ヲ見テ天皇ノ裁可ヲ要セスト爲サハ固ヨリ許ルスヘカラサルノ誤謬タリサレハ此ノ爭ハ思意上觀念ノ相異ヲ爭フモノニ非スシテ唯タ豫算ノ文字ヲ見ル異レルニ本ツクノミ然レトモ若シ豫算ハ天皇ノ裁可ヲ要セストスルノ說ニシテ豫算ハ直チニ行政機關ニ對スル訓令タリトスルノ意ニ出テシメハ其ノ誤レル論ナキノミ

豫算ノ性質

豫算ハ法律ニ非ス

豫算ハ帝國議會ノ協賛ヲ經テ天皇ノ定ムルトコロタリ協賛ヲ以テ要件手續トスルハ法律ノ制定ニ同シ之レヲ以テ豫算ハ法律タリト爲スコト勿レ豫算ハ會計ノ見積タルノミ其ノ實質ニ於テ法規ニ非ス實質ニ於テ法規ニ非サルモノハ假令議會ノ議定スルトコロト雖モ之レヲ憲法ニ所謂法律ト爲スコト能ハサルハ前ニ設ケリ外國ノ憲法或ハ豫算ハ法律ヲ以テ定ムト規定スルモノアリ然レトモ之レ唯タ豫算ヲ定ムルニ議會ノ同意ヲ經ヘシト爲スノ意タルノミ彼ノ國學者ノ定說アリ憲法上法律トハ議會ノ協賛ヲ以テ定メタル國法ヲ云フ法律ハ國法ノ一部タリ法規ヲ定ムルモノニ非サレハ法律ニ非ラス豫算ハ法規ヲ定ムルモノニ非ス憲法上之ヲ命令ト區別シ效力ニ差等アラシメタル法律ニ非サルナリ唯タ之ヲ定ムルニ議會ノ協賛ヲ要スト爲スノミ此一事ヲ以テ之ヲ法律ナリト爲シ法律ヲ變更スルコトヲ得ヘク命令ヲ變更スルコトヲ得ルノ法律ノ形式的效力ヲ有スルモノト爲スコトヲ得ス

議會ノ豫算議定權ノ範圍

豫算ハ法規ヲ定ムルモノニ非ス故ニ之レヲ議定スルハ法律タリ命令タリ凡テ國法ノ範圍內ニ於テシ之ニ違背セサランコトヲ要ス議會ハ法律案ヲ提出スルノ權アリ以テ法律ヲ變更シ命令ヲ變更スルコトヲ議スヘシト雖モ豫算ノ議定ヲ以テ直チニ法律命令ニ違反スルコトヲ得ス國法ノ效力トシテ要求スルトコロタリ之レヲ議會カ豫算ヲ議定スルノ實際ニ當テテ云ヘハ一ニハ議會ハ法律命令ニ於テ支出ノ目的定マルモノハ之レヲ廢除スルコトヲ得ス二ニハ更ニ法令ニ支出ノ額モ定マルモノアラハ之レヲ削減スルコトモ亦爲

シ得サルナリ之レヲ議會ノ豫算ヲ議定スルニ對スル二大制限ト爲スヘシ故ニ議會ノ爲シ得ルトコロハ法令ニ目的ノ定メナキ豫算ノ條項ヲ廢除シ額ノ定メナキモノヲ削減スルニ在ルノミ

憲法ハ此ノ議會ノ豫算ニ就テ自由ニ修正議定スルコトヲ得ルノ範圍ニ就テ尚ホ二三ノ制限ヲ加ヘタリ

第一制限

第一 皇室經費ハ現在ノ定額ニ依リ毎年國庫ヨリ之レヲ支出シ將來增額ヲ要スル場合ヲ除クノ外帝國議會ノ協贊ヲ要セス

第二制限

第二 特別ノ須要ニ依リ政府ハ豫メ年限ヲ定メ繼續費トシテ帝國議會ノ協贊ヲ求ムルコトヲ得其ノ一タヒ繼續費トシテ協贊ヲ經タルモノハ議會ハ將來之レヲ廢除削減スルコトヲ得ス

第三制限

第三 避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フ爲ニ又ハ豫算外ニ生シタル必要ナル費用ニ充ツル爲ニ豫備費ヲ設クヘシ豫備費ハ之レヲ廢除スルコトヲ得ス

第四制限

第四 憲法上ノ大權ニ基ケル既定ノ歳出及ヒ法律ノ結果ニ由リ又ハ法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出ハ政府ノ同意ナクシテ帝國議會之レヲ廢除削減スルコトヲ得ス

憲法上ノ大權ニ基ケル既定ノ歳出トハ何ソ

一 憲法上ノ大權ニ基ツケル既定ノ歳出トハ曩ニ之レヲ説キタル憲法ヲ以テ天皇カ之レヲ親裁攝行スルコトヲ要件トシタル政務ニ付キ此ノ要件ニ從ヒ此ノ權能ニ基キ天皇カ定メタルトコロノ歳出ヲ云フ此ノ如キ歳出ハ其ノ費目憲法上ノ大權ニ基キテ既ニ定マルモノハ議會之レヲ廢除スルコトヲ得ス額モ共ニ定マルモノハ議會之レヲ削減スルコトヲ得ス若シ之レヲ廢除削減セントスレハ同意ヲ得サルヘカラサルナリ或ハ

既定ノ歳出ノ意義

既定ノ歳出ト云フヲ以テ前年度ノ豫算ニ於テ既ニ定マルノ意タリト爲スモノアリ普魯西憲法ニハ帝國憲法ノ此ノ條ニ當ル規定ナシ此ヲ以テ其ノ學者ナルヘク議會ノ權限ヲ限局シテ解釋セント試ムル者説ヲ爲シ議會モ國家ノ機關ナリ國家ノ機關ノ一タヒ發表シタル意思ハ又自己ヲモ拘束ス議會カ前年度ノ豫算ニ於テ議定シタルトコロハ今年度ノ豫算ノ議定ニ就テ拘束スルトコロナカルヘカラス前年度ノ豫算ニ定マルモ

ノハ議會之レヲ廢除削減スルコトヲ得スト爲ス此ノ議論ヲ取リテ帝國憲法第六十七條ノ解釋ト爲スナリ然レトモ豫算ハ初メヨリ效力ヲ一年ニ限ルモノナリ國家機關ノ意思表示ノ論ヲ以テ一概ニ之レヲ論スルコトヲ得ス前年度ノ豫算ハ前年度ノ豫算タリ今年度ニ非ス何等ノ效力アルモノニ非ス又況ンヤ議會ハ豫算ヲ定ムルニ非サルコト上來述フルトコロノ如クナルオヤ而シテ我カ憲法ニハ此ノ條文アリ何ヲ苦ンテ之ヲ前年度ノ豫算ニ定ムルトコロニ限局シテ大權ノ獨立ヲ保障スル所以ニ出テタルノ規定ノ實效ヲ減殺センヤ本條ノ主旨タル蓋シ憲法上ノ大權ニ屬スル事項ヲ議會ノ干與ノ外ニ置クト雖モ之レニ要スル費用ノ支辨ハ豫算ヲ以テ議會ノ協賛ヲ求メサルヘカラスシテ爲メニ大權ノ獨立事實ニ於テ失ハルルニ至ランコトヲ慮リ議會ハ之レヲ廢除削減セントスルニハ必ス政府ノ同意ヲ得ルコトヲ要ストナシテ之レヲ制限シ以テ放ニ大權ノ定ムルトコロノ實ヲ擧クルコト能ハシメサルニ至ラス大權ノ獨立ヲ保センコトヲ期スルナリ曩キニ條約ノ國內ニ於ケル施行ノコトヲ說キ條約ヲ締結スルハ大權ニ屬シ天皇ノ親裁スルトコロ之レヲ國內ニ行ハントスルニハ別ニ國法ヲ以テセサルヘカラス若シ其ノ事憲法上ノ立法事項ニ當ルトキハ議會ノ協賛ヲ要スヘク議會ノ協賛ハ自由ナルカ故ニ條約ハ履行スルコト能ハサルノ結果ヲ見ルニ至ラント雖モ止ムナキトコロナリト云ヘリ若シ此ノ場合ニ處スルニ憲法第六十七條ノ如キ議會ハ協賛ヲ拒ムニハ政府ノ同意ヲ要スト爲スノ規定アラハ恐ラク此ノ事實上ノ困難ヲ救フニ餘リアラン憲法第六十七條ハ豫算ニ就テハ此規定ヲ爲スモノナリ法律ニ就テ此規定ヲ設ケサリシハ外國ノ憲法ニ於テ條約ノ締結ハ議會ノ同意ヲ要スト爲スノ故ニ法律ニ就テ事實上ノ困難起ルコトナク唯リ豫算ニ就テ屢々政府ト議會ノ抗爭ヲ生シタルヲ見テ深ク覺ラス唯リ豫算ニ就テ此規定ヲ爲シタルモノニ非サルナキハ立法者ノ疎漏ト云ハサルヘカラス然レトモ豫算ニ就テハ此規定アリ以テ不都合ナキコトヲ期スヘシ天皇條約ヲ締結シ費用ノ目ヲ之レニ定メ又ハ其ノ額ヲモ定メタルトキハ政府ノ同意ナケレハ之ヲ廢除削減スル

豫算ニ關スル第六十七條ト條約ニ關スル規定トノ關係

憲法第六十七條ハ議會當然ノ豫算議定權ヲ制限シタルモノナリ

コトヲ得ス之レニ依リテ條約ノ不履行ニ陷ルコトナキヲ期スヘシ政府ハ事情ニ依リ條約ノ相手國ニ對シテ履行ノ延期ヲ求メ得ヘク又其ノ他ノ方便アリ得ト爲サハ其ノ費用ノ廢除削減ニ同意スヘシ然ラサレハ之レカ同意ヲ拒ミ以テ條約ノ履行ヲ期スヘケレハナリ

此ノ規定ハ素ヨリ議會當然ノ豫算議定權ヲ制限シタルモノナレハ上述ノ規定ノ理由ニ見テモ尙ホ明カナルトコロタリ學者或ハ之レヲ法令ニ定マルトコロハ議會之レヲ廢除削減スルコトヲ得サル一般ノ原則ヲ茲ニ宣明シタルモノト爲ス然ラハ論者ハ政府ノ同意ヲ經レハ議會ハ豫算ヲ以テ法令ニ背反スルコトヲ得ト爲スカ又政府ハ議會カ豫算ヲ以テ法令ニ背反スルコトヲ同意スルヲ得ト爲スカ思ハサルノ甚シキモノト云フヘシ法令ハ豫算ノ準規タリ豫算ハ事實ノ見積タリ之レヲ定ムルハ法規ニ遵由セサルヘカラス之レ一般ノ法理タリ議會又ハ政府ノ隨意ニ定メ得ルトコロニ非ス憲法ノ命スルトコロタリ議會又ハ政府ノ隨意ニ遵由ト否トヲ決シ得ヘキトコロニ非ス之レヲ政府ハ議會ト相同意シテ遵由セサルコトヲ得ト爲サハ國法ノ意義何クニカ在ル憲法ノ效力何クニカ在ル此ノ規定ハ議會ノ當然爲シ得ルトコロニ就テ制限シタルノミ之レヲ或ハ又解セス政府ノ同意ヲ條件トシテ議會ノ權限ヲ擴張シタルモノナリト爲ス者アリ議會ハ豈政府ノ同意ヲ得テ法規ニ遵由セサルコトヲ得ルモノナランヤ政府ハ豈議會ニ同意シテ法規ニ遵由セサルコトヲ得ルモノナランヤ

憲法第六十七條ハ凡テ放漫ナル解釋ヲ許サス

サレハ此ノ規定ヲ解シテ憲法上ノ大權ニ基キ定マレルトコロハ凡テ政府ノ同意ヲ經テ廢除削減スルコトヲ得ト爲スカ如キ放漫ナル解釋ヲ爲スハ非ナリ憲法上ノ大權ヲ以テ定ムルハ法規アリ處分アリ其ノ法規ヲ定ムルモノハ議會ハ法令ノ範圍内ニ於テ豫算ヲ議定スルノ原則ニ從ヒ素ヨリ之レヲ廢除削減スルコトヲ得ス政府モ亦之レニ同意スルノ權能ナキナリ唯タ其ノ處分ヲ以テ定ムルモノハ議會之レヲ廢除削減スル當然ノ權能ヲ有ス然レトモ之レヲ自由ニ爲スコトヲ得トスレハ事實ニ於テ大權ノ獨立ヲ失ハシメ種種ノ不都合ヲ生スル前述ノ如クナルカ故ニ

法律ノ結果ニ依ルノ歳出トハ何ソ

法律ノ規定ノ當然ノ結果トシテ必要ナル歳出

其ノ當然爲シ得ルトコロタリト雖モ之レヲ爲スニ政府ノ同意ヲ要スト爲シ以テ不都合ナカランコトヲ期スモノナリ學者或ハ憲法上ノ大權ニ基キ定ムルモノ之レヲ分別セス其ノ法規ヲ定ムルモノモ又之レニ依ルノ歳出ヲ政府ノ同意ヲ得テ廢除削減スルコトヲ得ト爲ス者アリ注意ノ足ラサルノ致ストコロナリ

二 法律ノ結果ニ依ルノ歳出トハ何ソヤ之レヲ以テ法律ニ直接ニ支出ノ目的又ハ目的及ヒ金額定マルモノヲ云フト爲スコトヲ得ス何トナレハ之レ素ヨリ議會ノ廢除削減スルコトヲ得ルトコロニ非スシテ政府ト雖モ之レニ同意スルコトヲ得ルトコロニ非サレハナリ大權命令ヲ以テ定ムルモノト異ナルコトナシ法律ノ結果ニ依ルノ歳出トハ法律規定ノ當然ノ結果トシテ必要ナル歳出ヲ云フ例ヘハ法律ニ支出ノ目的定マルトキハ一定ノ金額ハ其ノ當然ノ結果トシテ必要ナル歳出ナリ又法律ノ規定スルトコロヲ實行スルニ必要ナル一定ノ設備ト之レニ要スル必要ナル一定ノ金額トハ其當然ノ結果トシテ必要ナル歳出ナリ之レ議會ノ當

政府ノ同意ヲ得テ廢除削減スルコト

然ノ權能トシテ廢除削減シ得ルトコロニ屬ス直チニ法令ニ背反スルモノニ非サレハナリ然レトモ之レヲ議會ノ自由ニ廢除削減スルトコロニ任スルトキハ法律アレトモナキカ如ク政府ハ法律ヲ施行スル當然ノ職責ヲ盡スコト能ハサラントス規定ノ主旨ハ其ノ此ニ至ルヲ防止スルニ在リ而シテ之レヲ政府ノ同意ニ繋クルハ政府ハ若シ行政ノ事情ニ依リ之レヲ廢除シ又ハ削減スルモ亦可ナリトスルトキハ之レニ同意スヘク然ラサレハ不同意ヲ唱ヘテ議會ヲシテ之レヲ廢除削減スルコトヲ得サラシムルニ在リサレハ議會ノ當然爲スコトヲ得サルトコロヲ政府ノ同意ヲ以テ爲スコトヲ得ト爲シ法律當然ノ效力ヲ紛更シ豫算ヲ以テ法律ニ牴觸スルコトヲ得ト爲スハ其ノ主旨ニ非ス議會ノ權限ヲ制限スルノミ之レヲ一般原則ノ言明ト爲シ又ハ一般原則ノ禁止スルトコロヲ許シ議會ノ權限ヲ擴張スト爲スノ解釋ハ之レヲ容ルルコト能ハサルナリ故ニ議會ノ政府ノ同意ヲ得テ廢除削減スルコトヲ得ルハ其ノ當然ノ權限ノ範圍ニ屬スル事項ニ限ル故ニ法律ニ直接ニ費目定マルモノハ其ノ額

チ得ルハ議會當然ノ權限ノ範圍ニ屬スル事項ニ限ル

ヲ削減スルコトヲ得レトモ之レト共ニ費目ヲ廢除スルコトヲ得ス費目ト額ハ共ニ之レヲ廢除削減スルコトヲ得ルハ其ノ法律ニ直接ニ定マルトコロナキモノニ限ル

法律上政府ノ義務ニ屬スル歲出トハ何ソ

法律上ノ義務トハ法律命令及國際法等凡テ法上ノ判斷ニ依リテ政府ノ義務トセラルルモノチ云フ

三　法律上政府ノ義務ニ屬スル歲出トハ契約ニ依リ又ハ其ノ他ノ原因ニ依リ國家ノ債務タル歲出ヲ云フ故ニ法律上ト云フハ形式的ノ意義ヲ有スルニアラス法上ノ義務タルノ謂ナリ法律命令國際法凡テ之レ等ノ判斷ニ依リテ政府ノ義務トセラルルヲ法律上ノ義務ト云ヘリ此ノ如キ歲出ハ法令其ノモノノ規定ノ內容ニ非ス之レト獨立ニ政府ノ爲シタル行爲又ハ事實カ此ノ判斷ニ依リテ義務ヲ發生シタルノミサレハ議會ハ當然之レヲ廢除削減スルコトヲ得一般原則ノ禁スルトコロニ非サルナリ然レトモ國家カ他ノ當事者ニ對シテ負フトコロノ義務ナリ若シ議會之レカ支出ヲ協贊セサレハ其ノ結果ハ義務ノ不履行ニ至ラントス政府ノ極メテ不便トスルトコロナリ此ヲ以テ之レヲ政府ノ同意ニ繫ケ其ノ同意アルニ非サレハ之レヲ廢除削減スルコトヲ得サラシム又議會當然ノ權能ヲ制限スルモノナリ

豫算議定權ノ制限ノ規定ハ實際ノ酌量ニ政府ノ權能ニ屬セシメタルモノナリ

之レヲ要スルニ憲法第六十七條ハ議會ノ豫算ヲ議定スルハ法令ノ範圍內ニ於テスヘキノ原則ヲ言明スルモノニ非ス政府ノ同意ヲ得レハ一般ノ原則ニ反スルコトヲ得ト爲シ其ノ權能ヲ擴張スルモノニ非ス議會ノ當然爲シ得ルトコロニ就テ大權ノ獨立ヲ保チ又ハ實際上ノ便宜ニ應スルカ爲メニ之レヲ制限シ唯タ政府ノ同意ヲ得ルニ依リテ之レヲ爲スコトヲ得ヘシト爲シ實際ノ酌量ヲ政府ノ權能ニ屬セシメタルモノナリ

豫算ノ編成及豫算議定ノ先後

豫算ハ政府之レヲ編製シテ議會ニ提出ス議會自ラ提出スルコト法律案ノ如クナラサルハ事物當然ノ性質ノ結果ナリ豫算ハ前ニ衆議院ニ提出スルコト憲法ノ定ムルトコロナリ之レヨリ推シテ貴族院ノ豫算議定權ヲ限局シ衆議院ノ定メタルトコロヲ修正スルコトヲ得スト爲スモノアリ二說制度ノ主旨ニ反ス明文ナケレハ認ムヘカラサルトコロタリ提出ノ順序ヲ先後スルハ議會ノ權能ヲ左右スルノ意ニ非サルナリ

豫算ノ效力

豫算カ議會ノ協贊ヲ經テ裁可セラレ天皇カ之レニ依ルヘキコトヲ行政機關

ヲ得ルハ議會當然ノ權限ノ範圍ニ屬スル事項ニ限ル

法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出トハ何ソ

法律上ノ義務トハ法律命令及國際法等凡テ法上ノ判斷ニ依リテ政府ノ義務トセラルルモノヲ云フ

ヲ削減スルコトヲ得レトモ之レト共ニ費目ヲ廢除スルコトヲ得ス費目ト額ハ共ニ之レヲ廢除削減スルコトヲ得ルハ其ノ法律ニ直接ニ定マルトコロナキモノニ限ル

三　法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出トハ契約ニ依リ又ハ其ノ他ノ原因ニ依リ國家ノ債務タル歳出ヲ云フ故ニ法律上ト云フハ形式的ノ意義ヲ有スルニアラス法上ノ義務タルノ謂ナリ法律命令國際法凡テ之レ等ノ判斷ニ依リテ政府ノ義務トセラルルヲ法律上ノ義務ト云ヘリ此ノ如キ歳出ハ法令其ノモノノ規定ノ内容ニ非ス之レト獨立ニ政府ノ爲シタル行爲又ハ事實カ此ノ判斷ニ依リテ義務ヲ發生シタルノミサレハ議會ハ當然之レヲ廢除削減スルコトヲ得一般原則ノ禁スルトコロニ非サルナリ然レトモ國家カ他ノ當事者ニ對シテ負フトコロノ義務ナリ若シ議會之レカ支出ヲ協贊セサレハ其ノ結果ハ義務ノ不履行ニ至ラントス政府ノ極メテ不便トスルトコロナリ此ヲ以テ之レヲ政府ノ同意ニ繫ケ其ノ同意アルニ非サレハ之レヲ廢除削減スルコトヲ得サラシム又議會當然ノ

豫算議定權ノ制限ノ規定ハ實際ノ酌量ヲ政府ノ權能ニ屬セシメタルモノナリ

豫算ノ編成及豫算議定ノ先後

豫算ノ效力

權能ヲ制限スルモノナリ

之レヲ要スルニ憲法第六十七條ハ議會ノ豫算ヲ議定スルハ法令ノ範圍内ニ於テスヘキノ原則ヲ言明スルモノニ非ス政府ノ同意ヲ得レハ一般ノ原則ニ反スルコトヲ得ト爲シ其ノ權能ヲ擴張スルモノニ非ス議會ノ當然爲シ得ルトコロニ就テ大權ノ獨立ヲ保チ又ハ實際上ノ便宜ニ應スルカ爲メニ之レヲ制限シ唯タ政府ノ同意ヲ得ルニ依リテ之レヲ爲スコトヲ得ヘシト爲シ實際ノ酌量ヲ政府ノ權能ニ屬セシメタルモノタリ

豫算ハ政府之レヲ編製シテ議會ニ提出ス議會自ラ提出スルコト法律案ノ如クナラサルハ事物當然ノ性質ノ結果ナリ豫算ハ前ニ衆議院ニ提出スルコト憲法ノ定ムルトコロナリ之レヨリ推シテ貴族院ノ豫算議定權ヲ限局シ衆議院ノ定メタルトコロヲ修正スルコトヲ得スト爲スモノアリ二說制度ノ主旨ニ反ス明文ナケレハ認ムヘカラサルトコロタリ提出ノ順序ヲ先後スルハ議會ノ權能ヲ左右スルノ意ニ非サルナリ

豫算カ議會ノ協贊ヲ經テ裁可セラレ天皇カ之レニ依ルヘキコトヲ行政機關

ニ命令シタルトキハ國家ノ會計ハ之レニ依テ行ハレサルヘカラス豫算ハ行政機關ヲ拘束スルノ效力ヲ有ス之レ憲法ノ主旨トスルトコロニシテ然ラサレハ之レヲ定ムルコトヲ必要トシ之レヲ定ムルニ議會ノ協賛ヲ經ヘシトスルモノ何等ノ意義モナケレハナリ然レトモ其ノ國家ノ會計ヲ拘束スルハ主トシテ歳出ニ就テ存スルトコロタル事前ニ述ヘタルカ如シ歳入ノ主ナルモノタル租稅ハ法律ノ結果トシテ當然入リ來ルトコロニシテ豫算ハ唯タ事實ノ見積タルニ過キス又何等ノ意義ナシ唯タ歳出ノ豫算ニ拘束セラルルハ官有財產ノ拂下ト云フカ如キ官ニハ自由ナル處分ニ依ルモノニ就テ存スルノミ之レトテモ其ノ見積額ハ法律上何等ノ意義ナシ諸種ノ他動的原因ニ依リ增減スルハ初ヨリ期セラルルトコロタリ歳出ニ對シテ政府ハ豫算ノ款項ニ其ノ費目定マルモノニ非サレハ支出スルコトヲ得ス其ノ額ニ超過シタル支出ヲ爲スコトヲ得ス豫算ノ定ムルトコロハ必ス之レヲ支出セサル可ラサルニ非サルコト云フ迄モナシト雖モ豫算ニ其ノ費目ノ設ケナキニ支出シ額ノ定メアルヲ超過シテ支出スルコトヲ許サス又甲ノ目的ノ爲メニ定メラレタル額ヲ乙ノ目的ノ爲ニ流用スルコトヲ得サルナリ

豫算ノ超過及豫算外ノ支出

行政機關ノ費用ノ支辨ハ一ニ豫算ニ依ラサルヘカラス然レトモ之レカ爲メニ國家ノ政務ヲ休止スルコトヲ得ヘキモノニ非ス國家ノ目的ハ本ナリ豫算ハ末ナリ豫算ノ數ヲ以テ國家ノ目的ヲ捨ツヘカラス豫算ニ費目金額ノ定メアリ行政機關ハ之レニ依ランコトヲ期スト雖モ時ニ或ハ此ノ費目ノ外ニ支出ヲ必要トシ又ハ此ノ金額ヲ超過スルコト止ムヲ得サルノ事宜ヲ生スルコトアラントス帝國憲法ハ之レヲ豫想シテ豫算ノ款項ニ超過シ又ハ豫算外ニ生シタル支出ヲ爲スコトヲ得ル旨ヲ定ム然レトモ此ノ如キハ憲法ヲ以テ國家ノ歳入歳出ノ豫算ヲ定メ議會ノ協贊ヲ經テ之レヲ定ムヘシトスルノ主旨ト相合ハサルモノアリ之レヲ以テ議會ヲシテ行政ノ監視者タラシムル所以ノ目的事實上達スルコトヲ得サルニ至ルヘケレハナリ此ノ故ニ憲法ハ此ノ場合ニハ後日議會ノ承諾ヲ求ムルヲ要スルモノトス或ル國ノ憲法ノ如ク政府ハ一ニ豫算ニ依ラサルヘカラスト爲シ豫算外ノ支出ヲ爲スヲ以テ違法タリト爲シ後日議會ニ對シテ陳辯シテ責任ノ解除ヲ求ムヘシト爲スト素ヨリ

豫算外ノ支出ハ違憲ナルモノ乎

後日議會ノ承諾ヲ求ムルハ政府ノ責任解除ニ非ス

主旨異ル憲法ハ豫算外ノ支出ヲ憲法ノ認ムル適法ノ支出ト爲スナリ唯タ其ノ之レカ爲メニ憲法ノ議會ヲ以テ行政ノ監視者ト爲スノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至ランコトヲ恐レ之ヲ後日議會ノ承諾ヲ得ヘシト爲スノミ承諾ヲ以テ責任ノ解除ト爲スニ非サルナリ曩ニ緊急命令ニ就テ說ケルトコロヲ參照セヨ法理ハ同シ承諾ヲ求ムルノ法律上ノ性質ハ唯タ議會ヲシテ豫算外ノ支出ヲ可トスルカ否トスルカノ意見ヲ述ヘシムルノミ以テ行政ノ監視ノ方法トス之レヲ可トスルヲ以テ取消シ得ヘキ行爲カ追認セラレ違法ノ行爲カ適法ト爲リ又ハ責任カ解除セラルルニ非ス之レヲ否トスルモ亦適法ノ行爲タル豫算外ノ支出カ其ノ效力ヲ失フニ非ス緊急命令ノ承諾ト同シ再ヒ說カス

豫算ノ不成立

豫算ハ支出ヲ拘束ス然レトモ豫算ニ依リテ初メテ國家ハ支出スルコトヲ得ルモノニ非ス行政機關ハ其ノ當然ノ職責トシテ其ノ職務ヲ行ハサルヘカラス國家ノ目的ノ遂行ヲツトメサルヘカラス之レカ爲メニ要スル費用ハ又自カラ支出セサルヘカラサルナリサレハ若シ豫算カ議會ノ協贊ヲ經ルコト能ハサルトキハ憲法所定ノ手續ヲ缺クカ故ニ豫算定マルコトヲ得スト雖モ行政機關ハ之レカ爲メニ政務ヲ廢スルコトヲ得サルナリ依然トシテ行政ノ活動ハ續行セラレサルヘカラス一豫算ノ故ヲ以テ國家ノ生存ヲ休止スルコトヲ許ルスヘケンヤ行政機關ハ行政事務ヲ續行シ費用ヲ要スレハ之レヲ支出スルコトヲ得サル可ラス之レ其ノ當然ノ義務タリ權能タリ然レトモ斯クノ如キハ議會ヲ以テ行政ノ監視者タラシメタル所以ニ非ス若シ此ノ場合ニ處シ何等カ多少ナリトモ議會ノ行政ノ監視者タルコトヲ行フコトヲ得セシムルヲ得ルナラハ之レヲ用ユルハ大ニ希望スヘキトコロタラスンハアラス殊ニ豫算ノ不成立ハ屢々アルノ事宜タルニ於テオヤ啻ニ議會ノ協贊ヲ經ルコトヲ得サル場合ノミナラス天皇カ之レヲ裁可セサルトキハ又之ヲ命令スルコトナカラン此ノ場合ノ如キ若シ何等カ方法ノ設ナクンハ天皇ハ常ニ議會ノ議定ヲ裁可セス豫算ヲ不成立ナラシメテ隨意ニ行政機關ヲシテ支出セシムルモ亦止ムヲ得サラントス此ヲ以テ憲法ハ其ノ方法ヲ與ヘ定メテ帝國議會ニ於テ豫算ヲ議定セス又ハ豫算成立ニ至ラサルトキハ政府ハ前年度ノ豫

豫算外ノ支出ハ違憲ナルモノ乎

後日議會ノ承諾ヲ求ムルハ政府ノ責任解除ニ非ス

主旨異ル憲法ハ豫算外ノ支出ヲ憲法ノ認ムル適法ノ支出ト爲スナリ唯タ其ノ之レカ爲メニ憲法ノ議會ヲ以テ行政ノ監視者ト爲スノ目的ヲ達スルコト能ハサルニ至ランコトヲ恐レ之ヲ後日議會ノ承諾ヲ得ヘシト爲スノミ承諾ヲ以テ責任ノ解除ト爲スニ非サルナリ嚢ニ緊急命令ニ就テ説ケルトコロヲ參照セヨ法理ハ同シ承諾ヲ求ムルノ法律上ノ性質ハ唯タ議會ヲシテ豫算外ノ支出ヲ可トスルカ否トスルカノ意見ヲ述ヘシムルノミ以テ行政ノ監視ノ方法トス之レヲ可トスルヲ以テ取消シ得ヘキ行爲カ追認セラレ違法ノ行爲カ適法ト爲リ又ハ責任カ解除セラルルニ非ス之レヲ否トスルモ亦適法ノ行爲タル豫算外ノ支出カ其ノ效力ヲ失フニ非ス緊急命令ノ承諾ト同シ再ヒ説カス

豫算ノ不成立

豫算ハ支出ヲ拘束ス然レトモ豫算ニ依リテ初メテ國家ハ支出スルコトヲ得ルモノニ非ス行政機關ハ其ノ當然ノ職責トシテ其ノ職務ヲ行ハサルヘカラス國家ノ目的ノ遂行ヲツトメサルヘカラス之レカ爲メニ要スル費用ハ又自カラ支出セサルヘカラサルナリサレハ若シ豫算カ議會ノ協賛ヲ經ルコト能ハサルトキハ憲法所定ノ手續ヲ缺クカ故ニ豫算定マルコトヲ得スト雖モ行政機關ハ之レカ爲メニ政務ヲ廢スルコトヲ得サルナリ依然トシテ行政ノ活動ハ續行セラレサルヘカラス一豫算ノ故ヲ以テ國家ノ生存ヲ休止スルコトヲ許ルスヘケンヤ行政機關ハ行政事務ヲ續行シ費用ヲ要スレハ之レヲ支出スルコトヲ得サル可ラス之レ其ノ當然ノ義務タリ權能タリ然レトモ斯クノ如キハ議會ヲ以テ行政ノ監視者タラシメタル所以ニ非ス若シ此ノ場合ニ處シ何等カ多少ナリトモ議會ノ行政ノ監視者タルコトヲ行フコトヲ得セシムルヲ得ルナラハ之レヲ用ユルハ大ニ希望スヘキトコロタラスンハアラス殊ニ豫算ノ不成立ハ屢々アルノ事宜タルニ於テオヤ當ニ議會ノ協賛ヲ經ルコトヲ得サル場合ノミナラス天皇カ之レヲ裁可セサルトキハ又之ヲ命令スルコトナカラン此ノ場合ノ如キ若シ何等カ方法ノ設ナクンハ天皇ハ常ニ議會ノ議定ヲ裁可セス豫算ヲ不成立ナラシメテ隨意ニ行政機關ヲシテ支出セシムルモ亦止ムヲ得サラントス此ヲ以テ憲法ハ其ノ方法ヲ與ヘ定メテ帝國議會ニ於テ豫算ヲ議定セス又ハ豫算成立ニ至ラサルトキハ政府ハ前年度ノ豫

國債ヲ起シ及豫算外ニ國庫ノ負擔ト爲ルヘキ契約ニ關スル議會ノ協贊

財政上ノ緊急處分

財政上ノ緊急處分ト緊急命令トノ區別

算ヲ施行スヘシト爲ス豫算ノ議會ノ議定ヲ經サルトキハ前年度ノ豫算ニ依ルヘク天皇ハ議會ノ議定シタルトコロヲ嘉納セサルトキト雖モ又前年度定マルトコロノ豫算ニ依ルヘキモノトス

帝國議會ヲシテ國家ノ會計ニ參與セシムルハ唯リ豫算ノ議定ニ依ルノミナラス又國債ヲ起シ及ヒ豫算ニ定メタルモノヲ除ク外國庫ノ負擔ト爲ルヘキ契約ヲ爲スニハ帝國議會ノ協贊ヲ要スト爲セリ

豫算ハ國家會計ノ常規タリ然レトモ國家ノ目的ノ爲メニ緊急ノ必要ヲ生スルトキハ國家必スシモ之ニ依ラス必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得サルヘカラス憲法ハ此ノ場合ヲ豫想シテ公共ノ安全ヲ保持スル爲メ緊急ノ需用アル場合ニ於テ內外ノ情形ニ依リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スヘキコトヲ得ト爲セリ彼ノ法律ニ代ハル緊急命令ヲ發スルコトヲ得ルト爲セルト其ノ主旨ヲ同シウス緊急命令ニ就テ述ヘタルトコロヲ參照スヘシ唯タ緊急命令ハ法律ニ代ハリ法規ヲ定ム之レハ處分タリ法規ヲ定ムルモノニ非サルナリ故ニ事ノ財政ニ關スト雖モ法規ヲ定ムルハ緊急命令タリ其ノ之レヲ發スル條件ニ於テ二者一ノ異ナルモノアリ緊急命令ハ帝國議會ノ閉會中ナレハ足ル財政上ノ緊急處分ハ內外ノ情形ニ因リ議會ヲ召集スルコト能ハサルノ事情アルコトヲ要ス唯タ議會ノ閉會中ナルノ一事ヲ以テ此ノ財政上ノ緊急處分ヲ爲スコトヲ得サルナリサレハ租税ヲ徵收スルカ如キハ法規ヲ定ムルモノ必スシモ議會ヲ召集スルコト能ハサルノ情形アルコトヲ必要トセサルナリ財政上ノ必要ノ處分ヲ爲シタルトキハ又次ノ會期ニ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルコトヲ要ス承諾ノ性質ハ緊急命令及ヒ豫算外ノ支出ノ承諾ト同シ之レニ就テ述ヘタルトコロヲ參照シテ之レヲ覺ルヘシ

會計檢查院ト議會ノ決算審查ノ權能

議會ハ最後ニ國家ノ會計ヲ監視スルノ方法トシテ之ヲ審查スルノ權能ヲ有ス國家ノ會計ハ會計檢查院ヲ置キ之レヲ檢查セシム憲法ノ定ムルトコロタリ會計檢查院ノ組織及ヒ職權ハ法律ヲ以テ定ム行政機關カ果シテ豫算ニ從ヒ法令ニ遵據シテ收入支出セルカヲ檢查スルハ會計檢查院ノ職司ニ屬ス天皇ニ直隸シ行政機關ノ指揮ノ下ニ立タス各年度ノ會計檢查ノ成績ヲ上奏シ

其ノ成績ニ就テ法律又ハ行政上ノ改正ヲ必要トスヘキ事項アリト認ムルトキハ併テ意見ヲ上奏スルヲ得ルモノトス決算ノ會計檢査院之レヲ檢査確定シタルトコロハ政府之レヲ議會ニ提出シ審査ニ供フ之レヲ以テ議會ハ會計ヲ監視スル所以ヲ完ウスルコトヲ得ヘシ然レトモ唯タ之レヲ審査スルノミ素ヨリ政府ノ責任ヲ問ヒ又之レヲ解除スルニ非ス

帝國憲法

終

明治三十八年十月十四日印刷
明治三十八年十月十七日發行

不許複製

帝國憲法奥付

定價金貳圓

著作者　上杉愼吉

發行者　葉多野太兵衛
東京市神田區今川小路二丁目四番地

印刷者　山田英二
東京市小石川區久堅町百八番地

印刷所　博文館印刷所
東京市小石川區久堅町百八番地

發行所　日本大學
東京市神田區三崎町三丁目一番地

發賣元　淸水書店
東京市神田區今川小路二丁目四番地
（電話本局九百六拾五番）

清水書店發行書目抄

法學博士 高橋作衛先生著
◉平時國際法論
正價金參圓 小包料金拾五錢

法學博士 高橋作衛先生著
◉戰時國際法要論
正價金貳圓 小包料金拾五錢

法學博士 高橋作衛先生著
◉國際法理先例論（戰時）
定價金貳圓半錢 小包料金拾五錢

法學博士 高橋作衛先生著
◉日露戰爭國際事件要論
定價金五拾錢 郵稅金六錢

法學博士 高橋作衛先生著
◉滿洲問題之解決
定價金六拾錢 郵稅金六錢

法學博士 高橋作衛先生著
◉英船高陞號之擊沈
定價金四拾錢 郵稅金六錢

法學士 蜷川新先生著
◉黑木軍ト戰時國際法
定價金八拾錢 郵稅金拾錢

10-587

清水書店發行書目抄

法學士清水澄先生著 ◉國法學第一篇憲法篇 定價金貳圓 小包料金拾五錢

法學士上杉愼吉先生著 ◉帝國憲法 定價金貳圓 小包料金拾五錢

法學士小疇傳先生著 ◉日本刑法論（總則） 定價金一圓五拾五錢 小包料金拾錢

法學士小疇傳先生著 ◉日本刑法論（各論） 定價金二圓五拾錢 小包料金拾五錢

法學士松原一雄先生著 ◉新刑法論 定價金一圓五拾錢 小包料金拾錢

法學士菱谷精吾先生著 ◉不法行爲論 定價金一圓五拾錢 小包料金拾錢

法學士横田秀雄先生著 ◉物權法 定價金二圓二五錢 小包料金拾五錢

清水書店發行書目抄

法學士 清水 澄先生著 ◎國法學第一篇 憲法篇 定價金弐圓 小包料金拾五錢

法學士 上杉愼吉先生著 ◎帝國憲法 定價金弐圓 小包料金拾五錢

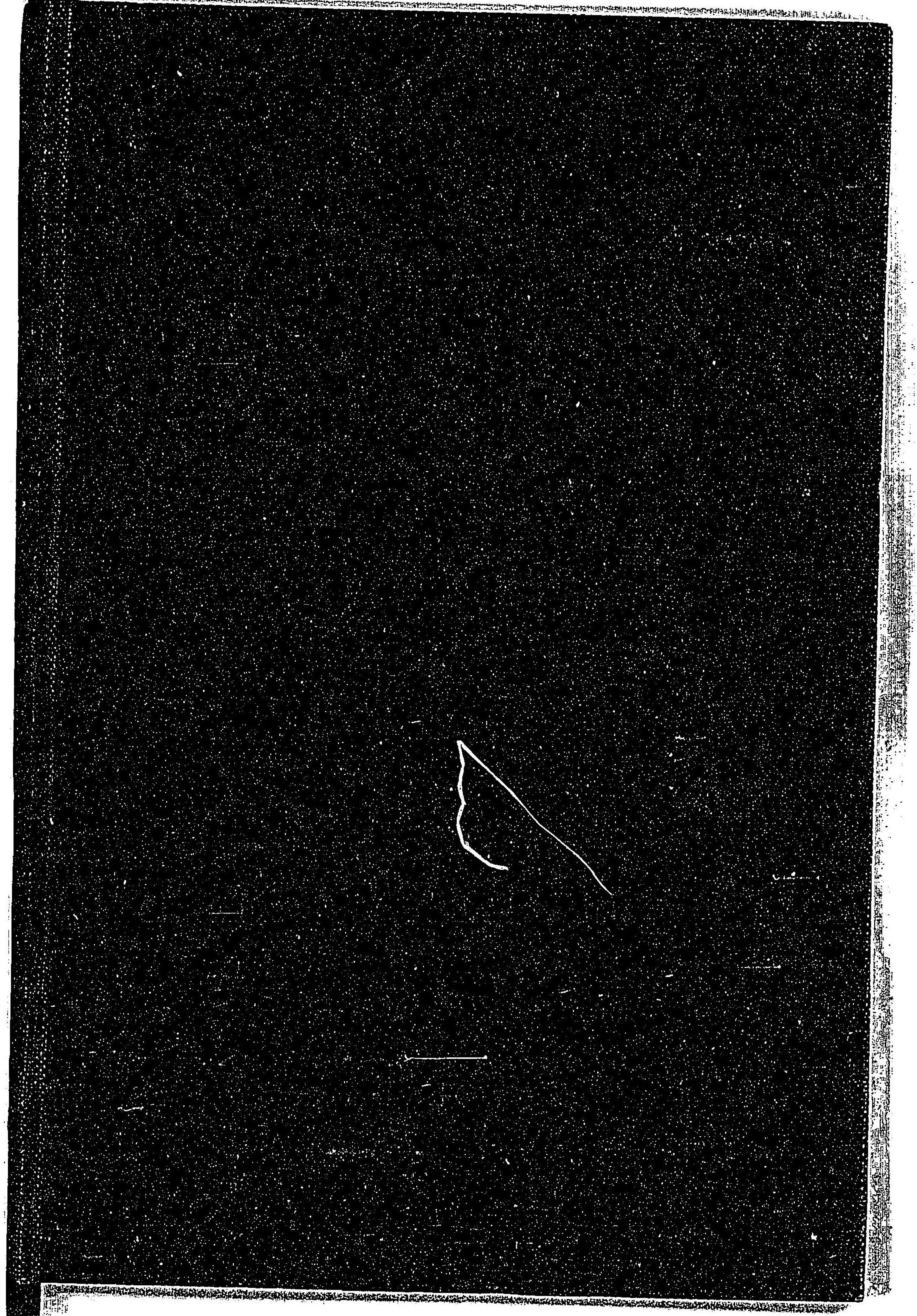
法學士 小疇 傳先生著 ◎日本刑法論(總則) 定價金一圓拾五錢 小包料金拾錢

法學士 小疇 傳先生著 ◎日本刑法論(各論) 定價金一圓五拾錢 小包料金拾五錢

法學士 松原一雄先生著 ◎新刑法論 定價金一圓五拾錢 小包料金拾錢

法學士 菱谷精吾先生著 ◎不法行為論 定價金一圓五拾錢 小包料金拾錢

法學士 横田秀雄先生著 ◎物權法 定價金一圓二十五錢 小包料金拾五錢



44
364
Ⓜ

031711-000-5

44-364

帝国憲法

上杉　慎吉／著

M38

BBE-0338